

郡上農林事務所の普及活動状況 令和6年10月31日現在

今月の重点活動

■夏秋いちご 「ぎふ清流GAP」認証取得に向けた農場評価

高鷲町の夏秋いちご生産者のほ場で、10月23日に「ぎふ清流GAP」認証取得に向けた農場評価が行われた。

評価は100以上の項目について、ぎふ清流GAP推進センターの評価員が管理手順やリスク評価をまとめた書類や、栽培ハウスや倉庫内の確認を行い審査した。農業普及課は、農業経営課の農業革新支援専門員の協力をうけ、GAP認証取得に向けて農場評価の事前の指導、調整などの支援を行った。

農業普及課では、今後も持続可能な農業の実現に向けて、生産者のGAP認証取得取組を総合的に支援する。



【管理手順書類の確認】

郡上の農業・農村を支える人材育成

■就農支援 「郡上トマトの学校」で収穫終了後の生育調査を指導

郡上地域のトマト産地では、出荷終盤を迎えている。郡上トマトの学校では、10月22日に生産終了した作型で収穫終了時の生育調査を実施した。この調査は、研修生が今年のトマトの状況を振り返り調査結果を基に時期ごとの栽培の問題点、改善点を明らかにするために行っている。

農業普及課から着果数、茎太、果房間長等の調査方法を説明し、JA指導者、市営農アドバイザーとともに研修生を指導しながら実施した。

農業普及課では、今後もJA指導者、市営農アドバイザーとともに研修生の技術向上・習得に向けた支援をしていく。



【収穫終了後の生育調査】

郡上農畜水産物のブランド展開

■大麦 大麦栽培研修会を開催

美並町麦作推進協議会は、7年産麦播種前の10月16日に郡上市美並振興事務所で大麦の栽培研修会を開催した。美並町・大和町の4生産法人と関係機関（JA・全農・市・農林）が出席した。

研修会では、JAが6年産麦の集荷実績を説明し、農業普及課は7年産に向けた排水対策、雑草対策など6年産からの反省点を踏まえた基本技術の徹底を図った。

今後、7年産大麦の播種が11月上旬を中心に行われる予定で、農業普及課では、収量・品質向上を目指して、当協議会の活動を支援していく。



【研修会の様子】

■夏だいこん 「ひるがの高原だいこん生産出荷組合」反省会を開催

「ひるがの高原だいこん生産出荷組合」の栽培反省会が、10月29日に生産者及び関係者ら20数名出席のもと開催された。

農業普及課からは、夏期の異常高温等の気象経過と品種比較現地試験結果をふまえ、次年度以降の課題と対策を説明した。特に品種比較試験は、生産者圃場で栽培されたダイコンを年間100点ほど調査しており、生育状況の把握と課題、対策を指導する重要なデータとして活用している。

次年度以降も、高温乾燥やゲリラ豪雨など、栽培を取り巻く厳しい環境が予想される。農業普及課では、生産者組織と連携しながら、巡回での観察や現地試験データを活かし、技術支援に組んでいく。



【次年度以降の課題と
対策の説明】